

米沢興讓館サイエンスフォーラム in 山大



私は、課題研究 (SSR) で多くの人と関わり、多くの人と喜びを分かち合い、悩み苦しみ、互いに刺激し合ってきました。

中でも、興讓館でしか体験できないSSRを通して一つ学んだことがあります。それは、「実験の楽しさ」です。研究課題を細かく絞り、先行研究を調べ、それに基づいて実験計画を立てる。そして実験を行い、結果をまとめて考察・展望まで考える。これは研究における当たり前の流れです。しかし、その全てが初めての体験でした。初めてだからといって、言い訳せずに班の人とともに考え、一つの研究データを完成させてきました。そのデータには数々のドラマが刻まれており、その一つ一つを楽しんできました。

すべての活動において興讓館・大学の先生方が親身になって相談に乗ってくださいました。そんな方々の支えがあったからこそ、私は純粋に「知りたい」と思うようになっただけでなく、私自身も「楽しさ」を一杯一杯楽しませてくださった先生方に感謝の気持ちがいっぱいあります。



7月10日、山形大学工学部有機材料システムフロンティアセンター2階において、米沢興讓館サイエンスフォーラムが開催された。

三年生理数科12チームおよびコア・スーパーサイエンスクラブの三年生5名が英語でポスター発表し、質疑応答を行った。併せて、山形大学の留学生による口頭発表も行われた。

SSRを振り返って

三年 理数科 男子

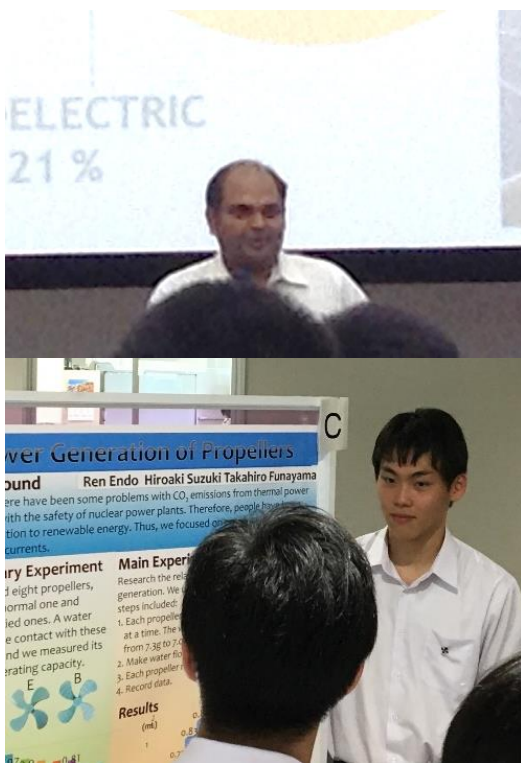
サイエンスフォーラムに参加して

二年 理数探究科 男子

私たち理数探究科は、山形大学工学部で行われたサイエンスフォーラムにおいて研究発表を見学しました。

会場では先輩方が1年間行ってきた研究について英語でポスター発表してくださいました。山形大学の先生方や留学生にも発表を見ていただき、質疑応答と意見交換が盛んに行われていました。科学の専門用語もあるため、研究内容をしっかり理解しながら聴くのはとても難しかったです。以前聞いたことがある発表でさえも理解が大変でした。にもかかわらず、先輩方は英語での質問も英語できちんと返答しており、尊敬しました。これを見習い、来年には先輩方と同じくらい英語でのやり取りを行えるように、英語にも力を入れて学習していきたいと思っています。

1年後、発表を成功できるように現在行っている課題研究 (SSR) に力を入れていこうと強く決意しました。

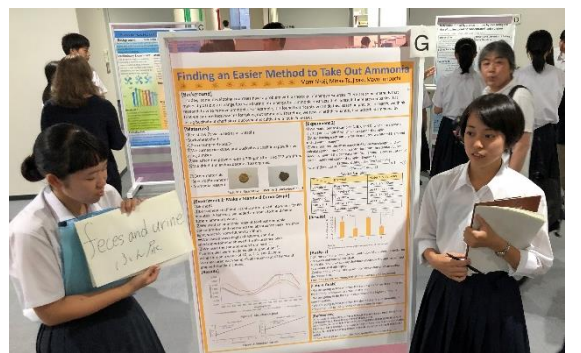


研究者への第一歩
三年 理数科 男子

私たちは7月10日にサイエンスフォーラムに山大に参加し、英語によるポスター発表を行いました。

私は元々英語があまり得意ではなく、発表準備にも時間がかかり、非常に不安でした。しかし、発表を通して、英語の発音やアクセント等も意識できるようになりました。英語力の向上を実感できました。自分たちの発表が終わった後、山形大学の学生によるプレゼンテーションがありました。大学で行っている最新の研究を聴くことができ、プレゼンテーションとは何か(作成から伝える方法まで)、とても参考になりました。他にも、留学生との交流もでき、楽しい時間を過ごすことができました。

他の学校ではなかなかできない、貴重な体験ができ、充実した時間でした。



来年のSSRに向けて
一年 探究科 女子



先日、一年生ながらサイエンスフォーラムに山大に参加させていただきました。初めて経験する研究発表会に胸を躍らせていました。

発表は全て英語にて行われ、ポスターも全て英語でかかれていました。先輩方の研究はハイレベルなものが多く、さらに英語ともなると理解できるか心配でした。しかし、図やグラフを用いて説明してくださいましたので少しは理解することができました。一つの発表についてだけでなく、質問をすることができました。また、山形大学の留学生による研究発表もあり、本校三年生の先輩方も質問されていました。

今回の経験を通して、自分も早く先輩方のような研究ができるようになりたいという思いと、英語の実力不足を感じました。日々の部活動(コア・スーパーサイエンスクラブ)で多くの論文に触れ、自分の研究テーマを探りたいと思います。

